

春号 八幡西図書館 ティーンズだより



〒806-0034 八幡西区岸の浦2丁目2-1 ☎642-1186

開館時間 平日(火~金) 9:30~19:00 / 土日祝日 9:30~18:00

八幡西図書館ホームページアドレス <http://yahatanishi-library.jp>

八幡西図書館 HP



『図解生き物が見ている世界』

田中 直樹/著 長沼 毅/共著・監修 学研パブリッシング 481.3/9/Z



皆さんは「この生物から見た世界はどんな風に映っているんだろう」と不思議に思ったことはありませんか？この本はヒトの視界と比べて、ほかの生物がどのように世界を見ているのかイラストでわかりやすく紹介しています。実は視力が弱かったり、色を判別できなかったりと、身近にいる生き物の意外な一面を知ることができます！紹介されている生物の生態や豆知識も載っているので、読めばきっと新しい発見がありますよ◎

『僕はしゃべるためにここへ来た』

笠井 信輔/著 産経新聞出版 369.3/カ/Z



情報番組「とくダネ！」でお馴染みの笠井アナウンサー。彼が体験した東日本大震災発生直後の様子や被災地での取材模様、現地で感じた報道人としての葛藤がつづられています。

津波に飲まれた女性が語った『おばあさんを蹴って沈めました』という告白。新聞やテレビでは伝えきれなかった当時の被災地の状況や被災者の声に、改めて災害の恐ろしさを痛感します。もし東日本大震災のような大地震が自分の住んでいる場所で起きたとしたら…。どう行動すべきか、どう備えるべきかこの本を読んで今一度考えてみてください。

『ニッポン制服百年史』

内田 静枝/編著 森 伸之/監修 河出書房新社 383.1/ウ/Z



現在制服には工夫を凝らした多種多様なデザインがあり、制服のデザインの良さで入学する学校を決める人がいるほど1つのファッションとして確立されています。そんな制服は海外でも日本のポップカルチャーとして注目を集めています。この本では様々な時代を経て、現在に至るまでの女学生服の歴史をイラストを交えて詳しく紹介しています！どのようにして日本で洋装制服が誕生したのか、昔はどんな着こなしが流行していたのかなど、制服に関する情報が満載の1冊です*

春の詩

『四月』 金子みすゞ

新しいご本、
新しいかばんに。

新しい葉っぱ、
新しいえだに。

新しいお日さま、
新しい空に。

新しい四月、
うれしい四月。

『このみちをゆこうよ』より
金子みすゞ/著 矢崎節夫/選
JULA出版局

『おはか』 江國香織

ここにねむっているのは ごせんぞ
みたことのない ごせんぞたち
いっばいいるから
つちのなかはにぎやかかもしれない

ちじょうは しずか
せんこうの けむり
しきみのはの みどり
がらがらと そとば
ておけには みずがきらめく
5がつのかぜ
おひさまがまぶしい
ぼくはまだ
まだまだまだ
おはかのそとにいるから

『パンブルムース!』より
江國香織/文 いわさきちひろ/絵
講談社

あなたはいくつ読める？春の植物漢字クイズ

春はたくさんの植物が芽吹き、色とりどりの花を咲かせる季節です。道端でよく目にする植物たち。名前は知っているけど、漢字でどう書くのか知っていますか？今回は春の野草の中から4つの漢字クイズを出題します！もっと知りたくなった方はぜひ図書館で調べてみてください*

【第1問】白詰草

(豆知識ヒント) 江戸時代にオランダから輸入したガラス製品の中にパッキングの材料として詰められ日本に持ち込まれました。これが名前の由来になっています。

【第2問】関東蒲公英

(豆知識ヒント) この植物の根はキンピラにしたり、煎って珈琲をつくることができます。

【第3問】薺

(豆知識ヒント) 実の形が三味線のバチに似ているので、ペンペン草の愛称で親しまれています。

【第4問】葎草

(豆知識ヒント) 民間でもよく利用する薬草で、10種類の薬効があるので十薬とも呼ばれます。

出典：『春の野草』永田芳男/著 山と溪谷社 470.3/ナ